

令和7年度第2回神奈川県保健医療計画推進会議 資料1別紙(参考資料3)

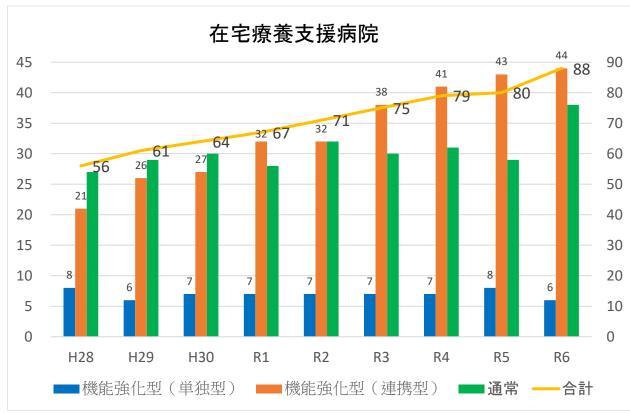
別紙:新たな地域医療構想の策定に向けて(在宅医療に関する参考データ)

目次

■ 本資料では現行の地域医療構想の振り返りに関連する在宅医療のデータをまとめています。

- 1. 神奈川県内の主な在宅医療施設の状況
- 2. 神奈川県内の主な介護施設等の状況
- 3. 神奈川県内の在宅医療の医療提供状況
- 4. 神奈川県の在宅医療に関するレセプト出現比
- 5. 神奈川県における在宅医療の自己完結率





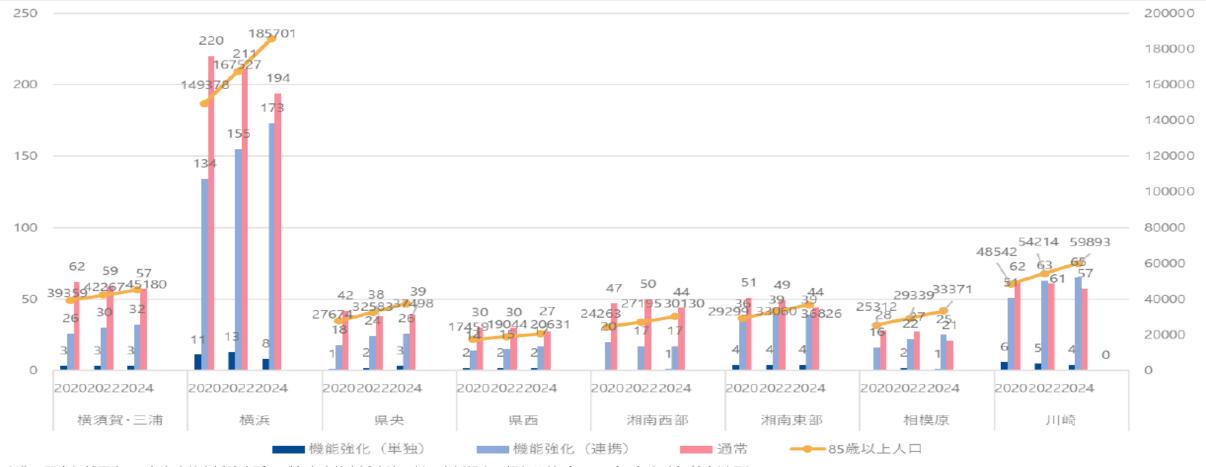
出典:診療報酬施設基準 毎年3/31時点

出典:診療報酬施設基準 毎年3/31時点

- 診療所・病院ともに合計数は増加傾向
- は診療所・病院ともにほぼ横ばいの状況 (単独型)
- は診療所・病院ともに増加傾向

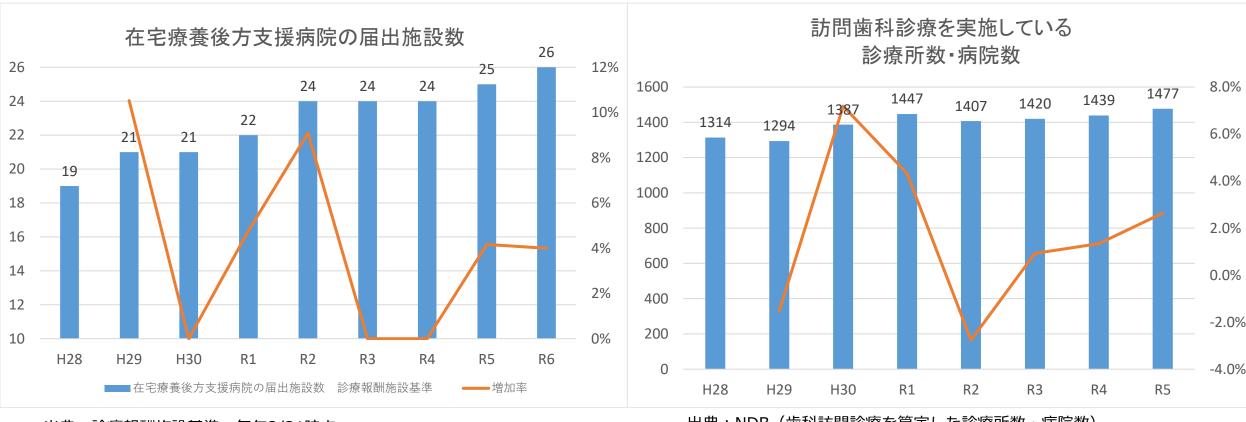
(参考) 高齢者保健福祉圏域ごとの在支診・在支病数及び85 歳以上人口の経年比較

(令和6年度第2回神奈川県在宅医療推進協議会資料2抜粋)



出典:関東信越厚生局,在宅療養支援診療所及び在宅療養支援病院に係る定例報告の経年比較(2024(R6)年度)神奈川県版

- ✓ 日常の療養支援に必要な体制である在支診・在支病については、施設1件あたりの負担が大きくならないよう、85歳以上人口の増加(主な療養対象者)に合わせて増加していることが望ましい
- ✓ 県内では、横浜、川崎地域以外は横ばいの状況

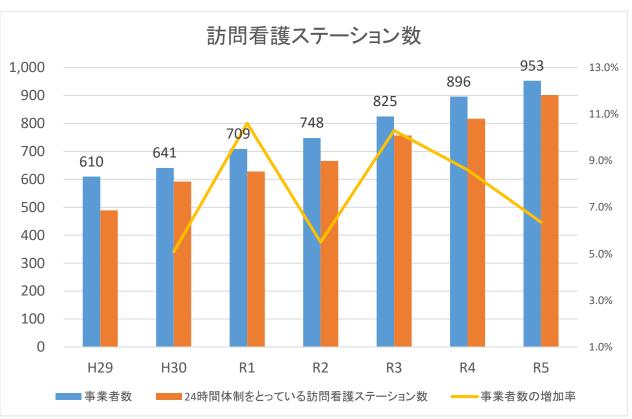


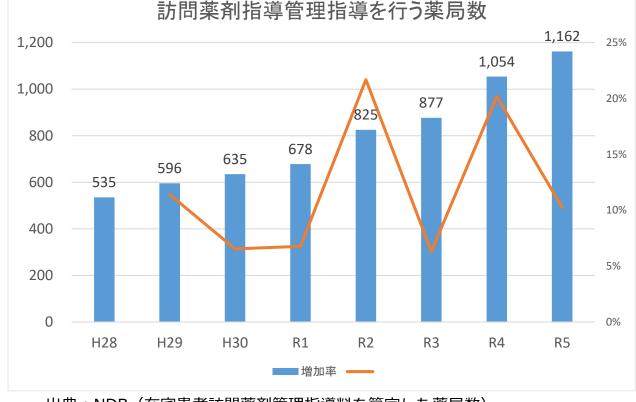
出典:診療報酬施設基準 毎年3/31時点

出典: NDB (歯科訪問診療を算定した診療所数・病院数)

- ✓ 在宅療養後方支援病院数はほぼ横ばい
- ✓ 訪問歯科診療を実施している病院・診療所数は増加傾向

Kanagawa Prefectural Government

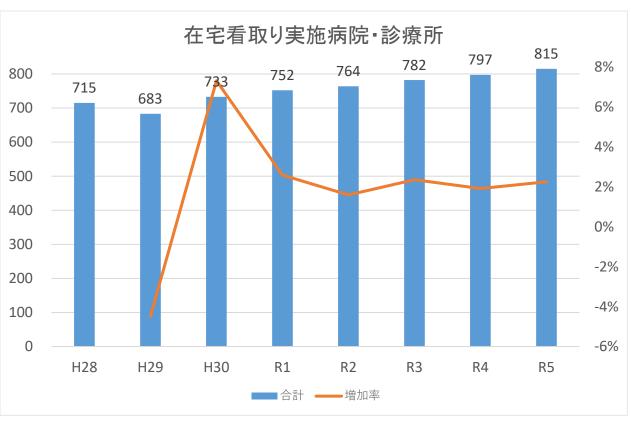


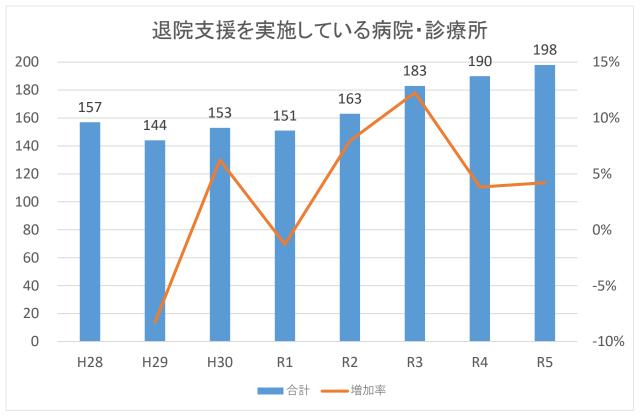


出典:訪問看護ステーション事業所数(神奈川県介護保険指定機関等管理システム登録数)、24時間体制をとっている訪問看護ステーション数(介護サービス施設・事業所調査)

出典: NDB(在宅患者訪問薬剤管理指導料を算定した薬局数)

- ✓ 訪問看護ステーション事業者数は増加傾向
- ✓ 訪問薬剤管理指導を行う薬局数は平成28年から令和5年の間に約2倍に増加



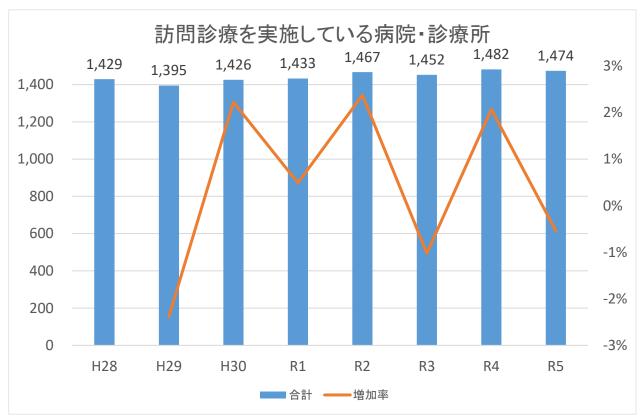


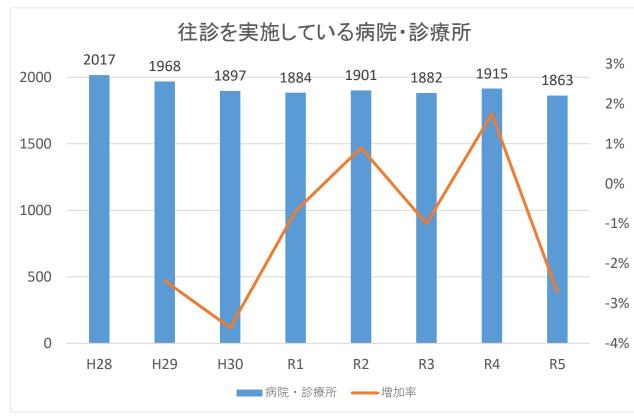
出典: NDB(在宅ターミナルケア加算等算定した病院・診療所数)

出典:NDB(入退院支援加算等を算定した病院・診療所数)

✓ 在宅看取り、退院支援を実施している病院・診療所数は微増傾向

Kanagawa Prefectural Government



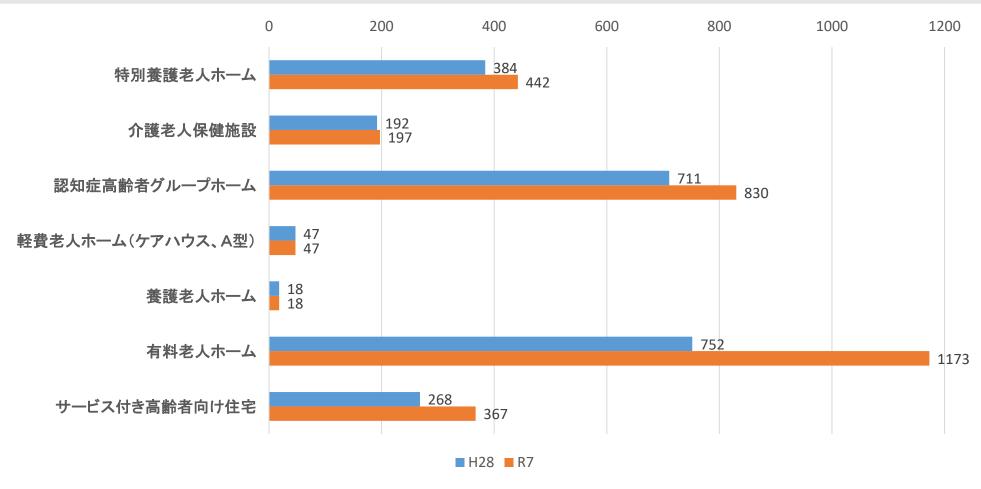


出典: NDB(在宅患者訪問診療料等を算定した病院・診療所数)

出典: NDB(往診料等を算定した病院・診療所数)

- ✓ 訪問診療を実施している病院・診療所数は横ばい
- ✓ 往診を実施している病院・診療所数は減少傾向

2 神奈川県内の主な介護施設等の状況



出典:県高齢福祉課「高齢者のための施設のご案内」

/ 特別養護老人ホーム、認知症高齢者グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向 け住宅は増加傾向

3

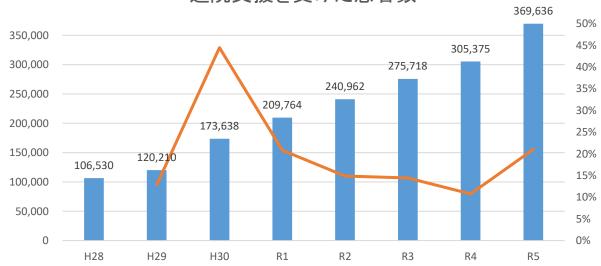
神奈川県内の在宅医療の医療提供状況(レセプト件数)

出典: NDB

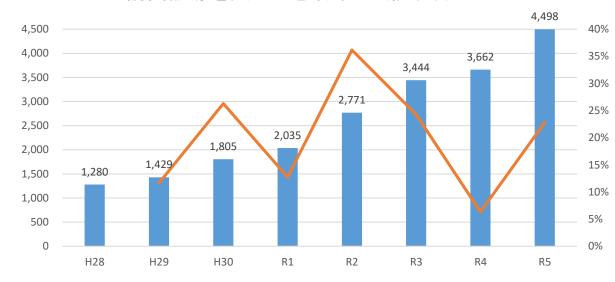




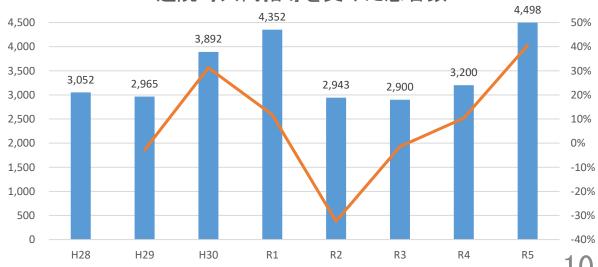
退院支援を受けた患者数



訪問診療を受けた患者数(15歳未満)



退院時共同指導を受けた患者数



棒グラフはレセプト件数、折れ線グラフは前年度増加率を示す

3 神奈川県内の在宅医療の医療提供状況(レセプト件数)

H29

H28

H30

R1

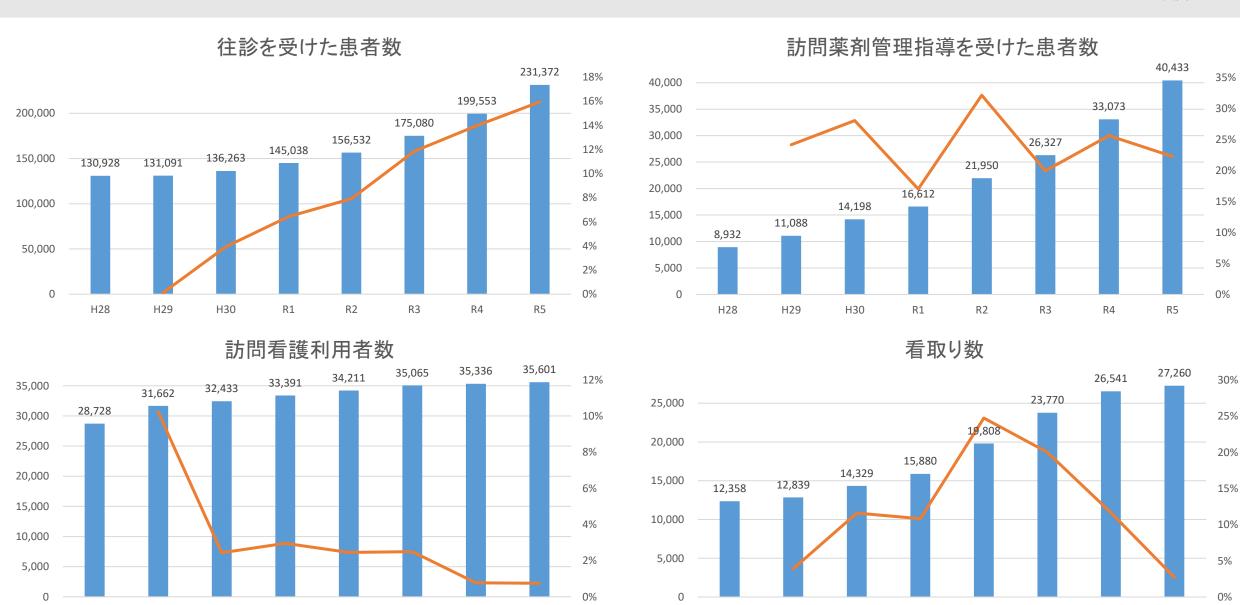
R2

R3

R4

R5

出典: NDB



H28

H29

H30

R1

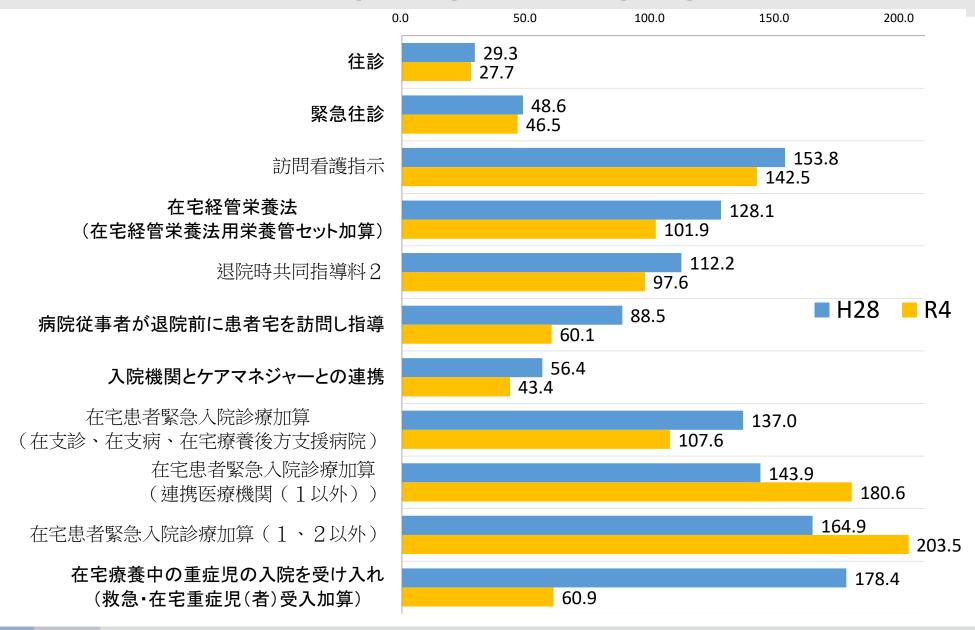
R2

棒グラフはレセプト件数、折れ線グラフは前年度増加率を示す

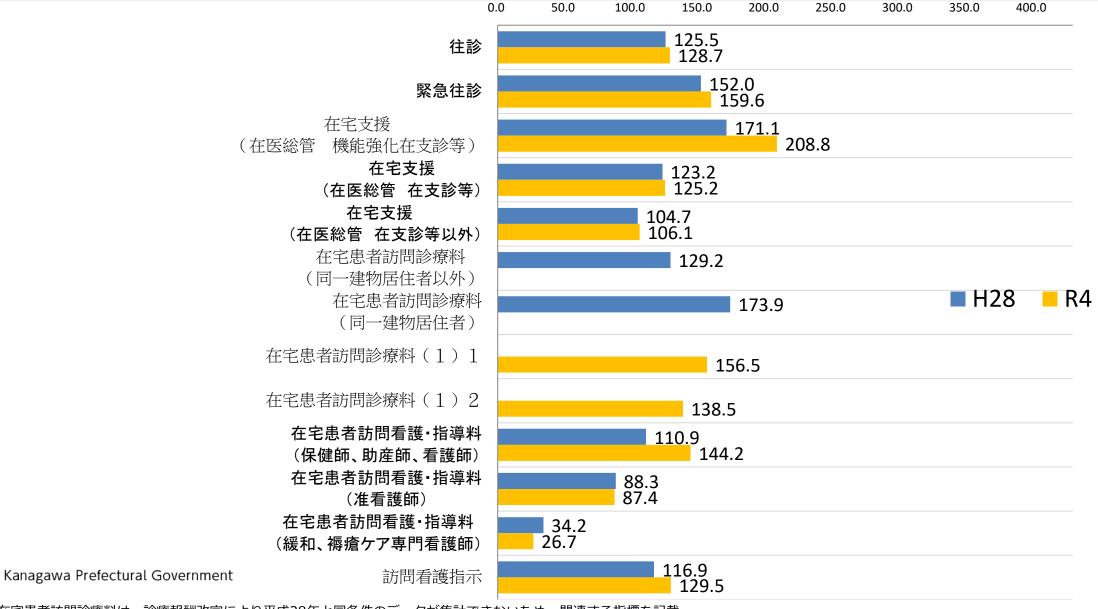
R3

R4

4 神奈川県における在宅医療関連の医療的行為に関する 年齢調整標準化レセプト出現比(SCR)の比較 (入院)



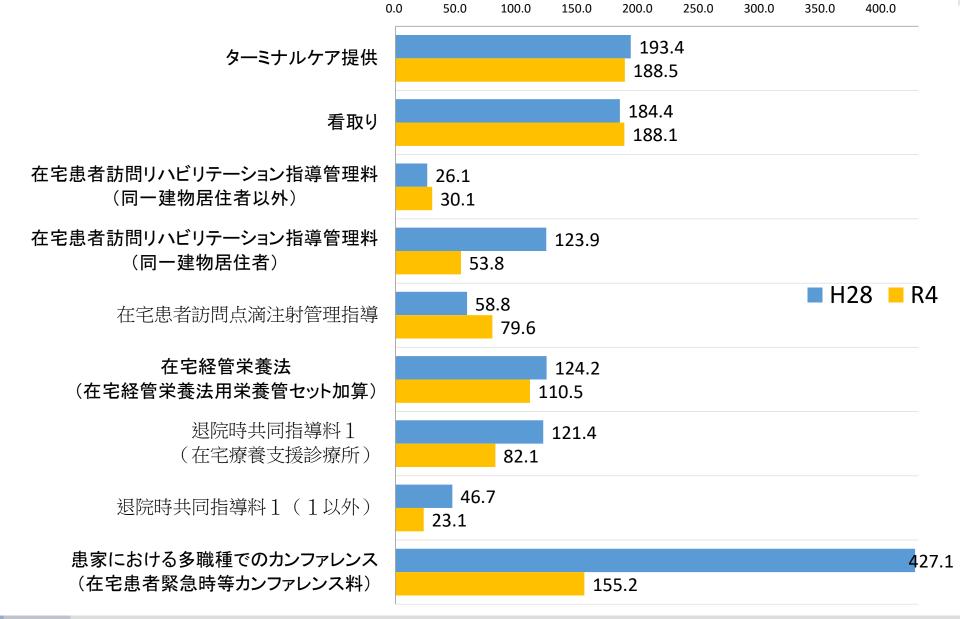
4 神奈川県における在宅医療関連の医療的行為に関する 年齢調整標準化レセプト出現比(SCR)の比較 (外来①)



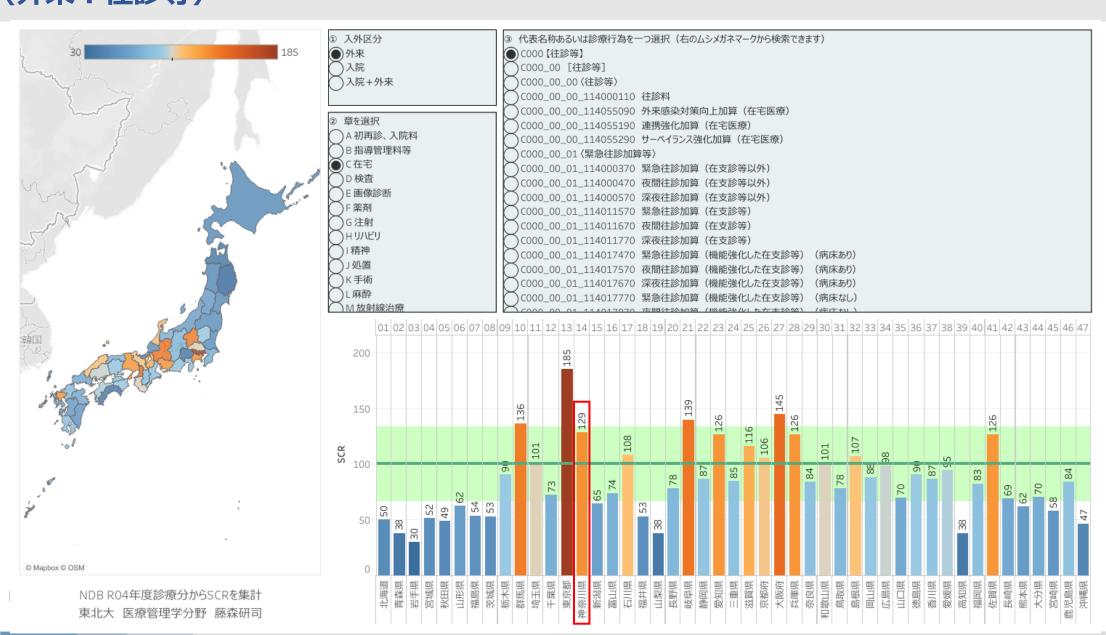
※ 在宅患者訪問診療料は、診療報酬改定により平成28年と同条件のデータが集計できないため、関連する指標を記載

出典:内閣府「医療提供状況の地域差」https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/special/reform/mieruka/tiikisa.html

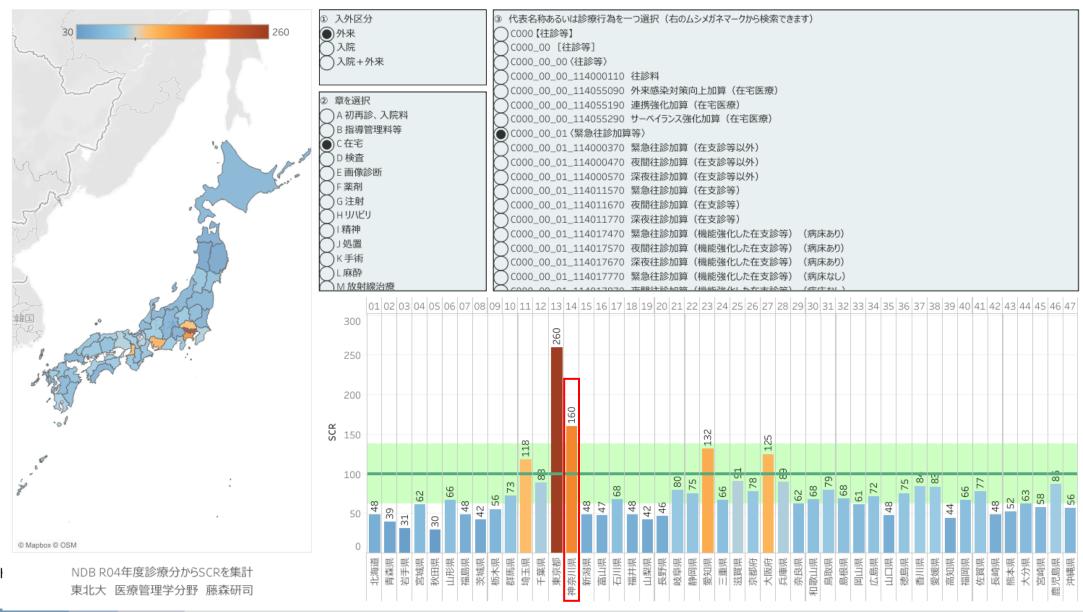
4 神奈川県における在宅医療関連の医療的行為に関する 年齢調整標準化レセプト出現比(SCR)の比較 (外来②)



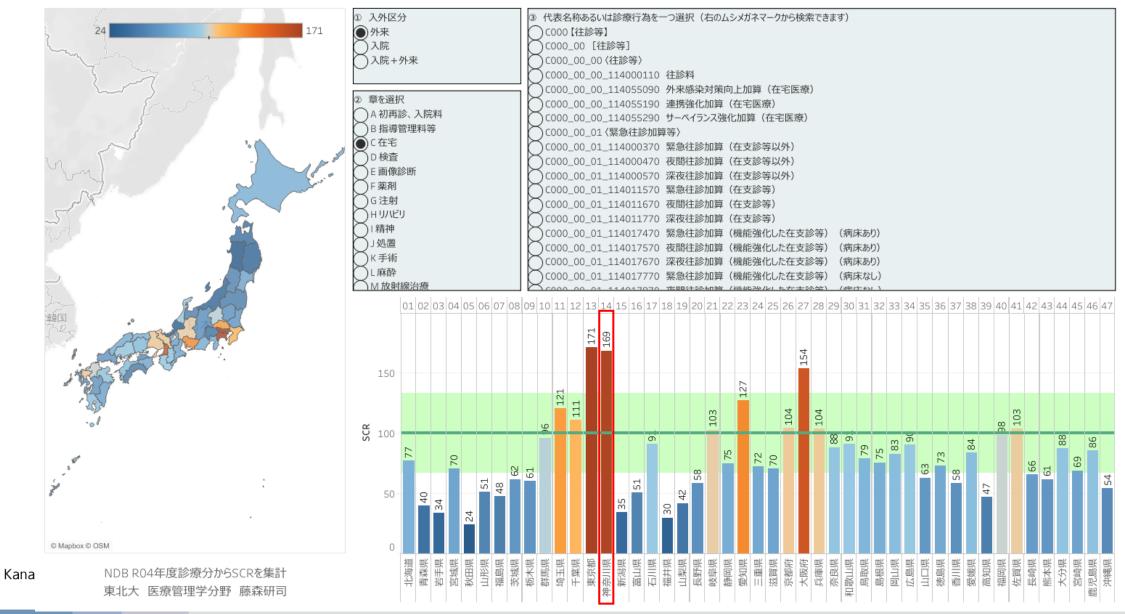
(参考) 都道府県別 年齢調整標準化レセプト出現比(SCR)の比較 (外来:往診等)



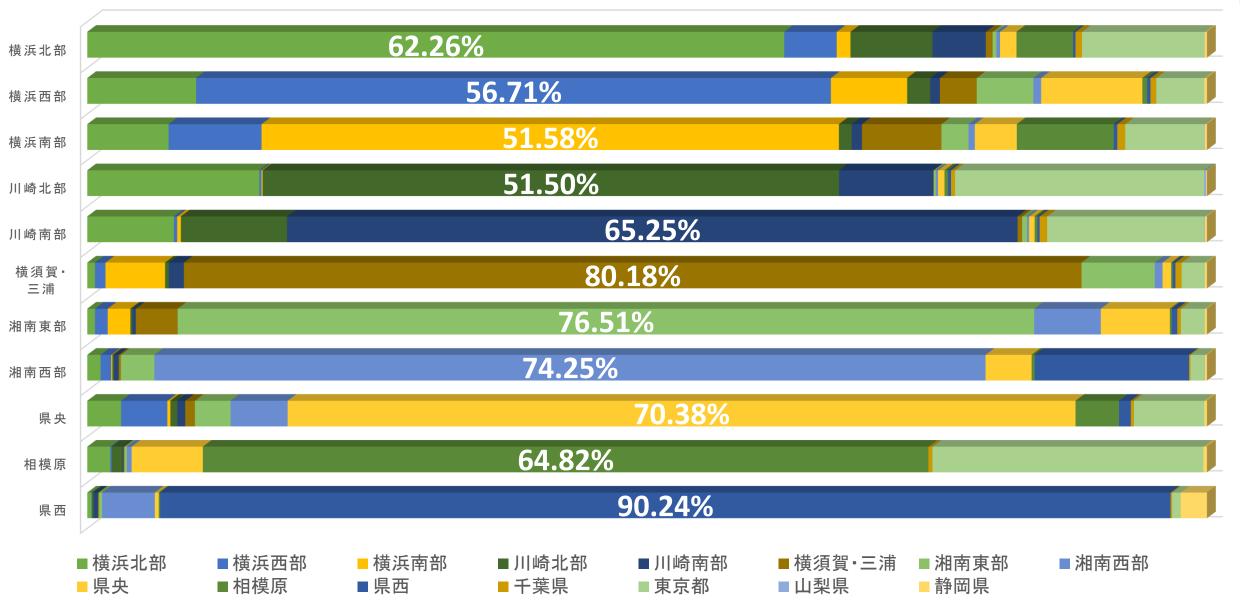
(参考) 都道府県別 年齢調整標準化レセプト出現比(SCR)の比較(外来:緊急往診等)



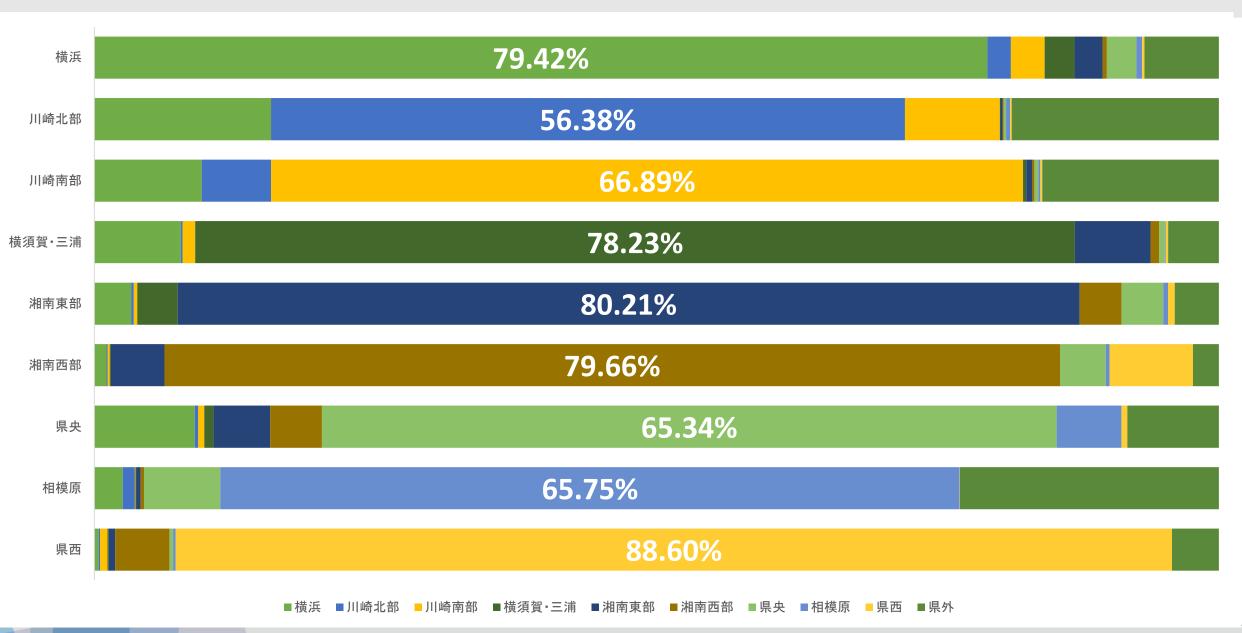
(参考) 都道府県別 年齢調整標準化レセプト出現比(SCR)の比較 (外来:在宅時医学総合管理料・施設入居時等医学総合管理料等)



5 神奈川県における在宅医療(訪問診療全体)の自己完結率(平成28年NDBデータ)



神奈川県における在宅医療(訪問診療全体)の自己完結率(令和3年NDBデータ)



補足事項

■ NDBについて

- ・レセプト情報・特定健診等情報データーベース(通称: NDB (National Data Base))
- ・全保険者(生活保護等の公費負担者を含む)の電子レセプト(但し、労災、自賠責、自費は除く)
- ・医科、DPC、調剤、歯科レセプトがある

■ 年齢調整標準化レセプト出現比(SCR)について

- ・全国の年齢構成別の平均レセプト数に占める当該地域の年齢構成別のレセプト数 (全国の平均像に対する比)
- ・SCR = Σ年齢構成別レセプト数×100/Σ年齢階級別人口×全国の年齢構成別レセプト出現率 (※年齢は、原則5歳刻みで計算)
- ・<u>流出入がなければ、100よりも大きければ医療充実又は提供過剰、少なければ抑制的に提供又は提供</u> 過少を意味する(100は全国平均)
- ・在宅患者訪問診療料は、診療報酬改定により平成28年と同条件のデータた集計できないため、関連する指標を記載

■ 在宅医療の自己完結率(NDBデータ)について

- ・各医療圏について、二次医療圏における自己完結率を示したもの
- ・流出・流入状況を把握するため、国保(国保組合を除く)・後期高齢レセプトに絞り込んだレセプトを対象として集計している。 そのため、医療需要の絶対量を把握することには適さない点に留意が必要。